

日本顕微鏡歯科学会第15回学術大会・総会 報告書

2018年4月20日（金）～22日（日）の3日間にわたり、大阪大学コンベンションセンター（大阪大学吹田キャンパス）にて日本顕微鏡歯科学会第15回学術大会・総会が開催されました。大会テーマは「Seeing is believing（百聞不如一見）」として大会長の木ノ本喜史先生（大阪府開業・大阪大学大学院歯学研究科）のもと海外からも約40名の参加者を含めて700名を超える盛大な大会となりました。

大阪で11年振りの大会でしたが、晴天にも恵まれ有意義な時間を過ごしていただけたかと思えます。参加者、学会役員、協賛いただいた企業、そして大阪大学歯科保存学教室の皆様感謝を申し上げて大会報告とさせていただきます。

なお、大会長基調講演、大会長賞受賞講演、シンポジウム10本、歯科衛生士シンポジウム3本が Doctorbook Academy のサイトにて公開されます。JAMD 会員は視聴可能ですので是非ご覧ください。



[1日目]

金曜日のハンズオンコースでは、モリタ、ペントロンジャパン、白水貿易の3社に協賛いただき、それぞれ午前午後と2回のセミナーが行われました。事前登録ではハンズオンコースの受付開始直後から申込が殺到し、わずかの期間ですべてのコースが満席になる盛況ぶりでした。

・株式会社モリタ

『今さら聞けない、マイクロスコープのためのミラーテクニック』（淵上了介先生・磯崎裕騎先生）

・株式会社ペントロン

『マイクロスコープを用いた歯根端切除術』（白井敏彦先生）

・株式会社白水貿易

『ベーシックからのステップアップ；マイクロとNTファイルを活用する』（山田邦晶先生）



株式会社モリタ



株式会社ペントロン



株式会社白水貿易

また金曜日には、大阪大学歯学部記念会館において、認定審査会、各種委員会、理事会が開催されました。



[2 日目]

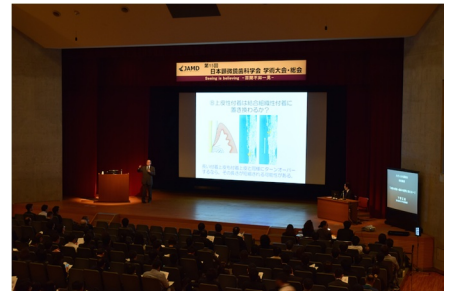
実行委員長の稲本雄之先生（大阪歯科大学）の開会宣言に続いて大会長の木ノ本喜史先生による基調講演，下野正基先生（東京歯科大学名誉教授）による特別講演が行われました。

- ・基調講演『Seeing is believing（百聞不如一見）』（木ノ本喜史先生）

顕微鏡の取り扱い方について 1990 年代の導入当初から現在に至るまで，さらには 10 年後の展望について，また，歯科治療各分野における取り扱いのコツなど今回の学会のテーマの趣旨などについてお話いただきました。

- ・特別講演『治癒の病理 ～臨床の疑問に答える～』（下野正基先生）

エンド・ペリオ・インプラント治療における治癒のメカニズムについて解説していただきました。基礎の先生による臨床的解説がとてもわかりやすく，1 時間の講演時間があっという間に過ぎてしまいました。ほとんどの聴講者がもう一席延長していただきたいと思ったのではないのでしょうか。



- ・一般口演（4 題）
- ・ランチョンセミナー（1，2）

2 会場にわかれてランチョンセミナーが行われました。どちらの会場も満席で立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

デンツプライシロナ株式会社『歯内療法における次世代医療機器とビッグデータの活用』（石井信之先生）

カールツァイスメディック株式会社『今，マイクロスコープを購入するなら，PROergo にする？ EXTARO にする？』（三橋純先生，櫻井善明先生）



デンツプライシロナ株式会社



カールツァイスメディック株式会社

シンポジウム 1：一般診療へのマイクロデンティストリーの活用 1

修復・歯髄処置・非外科的歯内療法・外科的歯内療法・補綴の 5 分野についてそれぞれご講演いただきました。

座長：辻本恭久先生，三橋純先生

- ・ マイクロスコープを用いたコンポジットレジン修復（菅原佳広先生）
- ・ 助かる歯髄，助からない歯髄，強拡大視野下で診断する（泉英之先生）
- ・ マイクロエンドを好きになろう（松永健嗣先生）
- ・ 前歯部から始める Apical Microsurgery（田中利典先生）
- ・ 精密補綴治療（小林実先生）



16:30-17:30 には，3 階ホワイエでポスター発表（6 題）と Book fair が同時に開催されました。Book fair は今回初めての試みで，編者・著者の先生方による書籍案内という企画でした。クインセツェンス出版，医歯薬出版，デンタルダイヤモンド社，ヒョーロン・パブリッシャーズの 4 社に出展していただきました。



懇親会は千里阪急ホテルで行われました。大阪・兵庫・京都から選りすぐりの日本酒を揃えた懇親会場でもマイクロスコープ談義は熱く続けられていました。また，ゲストとして神戸から女性アカペラグループ「Queen's Tears Honey」をお招きして美声を披露していただきました。



[3 日目]

最終日は第 14 回大会で大会長賞を受賞された稲本雄之先生による記念講演が行われました。

- ・ 大会長賞受賞記念講演
『磁力を用いた根管からの破折ファイル取り上げ』



続いて一般口演（3 題）と歯科衛生士シンポジウムが併行して行われました。

歯科衛生士シンポジウム：歯科用顕微鏡を用いたハイジーンワークの現在（いま）

歯科衛生士の大会参加者が増加傾向にあり，本大会でも 100 名近くに上りました．そのため会場は満席となり，熱気を帯びたシンポジウムになりました。

- ・見える！伝える！マイクロスコープ下での歯周初期治療（高橋規子先生）
- ・患者さんと DH の関係を深めるマイクロスコープメンテナンス（大野真美先生）
- ・マイクロスコープで見るインプラント周囲の炎症（片山美奈先生）



前日の 2 題に続いてさらに 3 題のランチョンセミナーが行われ，2 日で合計 5 題ものセミナーになりました．すべてのセミナーを聴講したかったという参加者も多かったようです。

ランチョンセミナー 3・4・5

株式会社モリタ『進化するエンドドンティックモーター』（外賀泰先生）

株式会社茂久田商会『拡大視野での歯周形成外科』（中田光太郎先生）

日本顕微鏡歯科学会『認定診査症例編集について解説』（中川寛一先生）



株式会社モリタ



株式会社茂久田商会

大会最終プログラムはシンポジウム2でした。

シンポジウム2：一般診療へのマイクロデンティストリーの活用2

非外科的歯周治療・外科的歯周治療・歯周形成外科・インプラント・口腔外科の5講演が行われ、前日の5講演と合わせて実に10題にも及ぶ講演はシンポジウム単独で行ってもひとつの大会が開催できるほどの充実ぶりでした。

座長：鈴木真名先生，吉田格先生

- ・非外科的歯周治療にマイクロスコープは必要とされているか？2018 現在（阿部修先生）
- ・再生療法におけるマイクロサージェリーの有効性（勝部義明先生）
- ・ペリオドンタルマイクロサージェリーの真実（松川敏久先生）
- ・マイクロスコープはインプラント治療を高めている いつでも，どこでも，誰でも（柴原清隆先生）
- ・群馬大学における endodontic microsurgery の導入と根尖病変に対する治療戦略（小川将先生，横尾聡先生）



最後に総会・評議員会，表彰式・閉会式が行われました。

総会・評議員会においては，会員数が1,500人を越えたとの報告がありました。また，次期会長として三橋純先生が承認されました。

引き続き行われた表彰式において，大会長賞には三浦千晶先生が，最優秀ポスター賞には吉田陽子先生が選出されました。

最後に，閉会式では来年の東京大会の大会長・古澤成博先生（東京歯科大学歯内療法学講座教授）に締めのご挨拶と来年の抱負を述べていただき無事に閉会となりました。



大会期間中にコンベンションセンターの空調設備の工事と重なったことや参加者にランチを取っていただくスペースが不足するのでは、などの不安もあり準備した大会ではありましたが、3日間大きなトラブルもなく無事開催することができました。これも、参加いただいた皆様はもちろん、事前準備からご協力いただいた辻本恭久会長や吉田格事務局長をはじめとする学会事務局の先生方のご協力と、当日を支えていただいた大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学教室（林美加子教授）の皆様の完璧な運営のお陰であると心より感謝しております。顕微鏡歯科が今後ますます発展することを期待し大会報告と致します。



学会事務局の先生方



大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学教室の教室員他

2018年8月 木ノ本喜史, 稲本雄之 記